



初開催

小学生が、『オトナ目線』で練馬区長選挙を追体験 ～練馬区選挙管理委員会が主権者教育をサポート

と き 平成29年1月26日(木) 28日(土)

と ころ 東京学芸大学附属大泉小学校(東大泉5-22-1)

26日と28日の両日、東京学芸大学附属大泉小学校(鎌田直純校長)で、平成26年4月に実施された練馬区長選挙を題材とした模擬投票と公開授業が行われた。6年生を対象に実施されたもので、小学生が実際の選挙を「オトナ目線」で追体験することは、区内の小学校では初の試み。

26日は、65人の児童が模擬投票を行った。練馬区選挙管理委員会が用意した、当時の選挙公報を活用して候補者を選び、実物の記載台や投票箱を使って一票を投じた。投票にあたっては、各児童に80代の高齢者や40代の社会人など役割を設定。それぞれの立場で考え、候補者を選んだ。高齢者の立場で投票した児童は、「24時間在宅介護・医療を実現してくれる人」、若者の立場の児童は、「保育園を充実する人」に投票したと話してくれた。

28日は、社会科教諭による公開授業が行われ、25人が参加した。投票するということは何かの問いかけに、児童は「よく見定めて選ぶことであり、私たちが練馬を変えるその一人である」「当選した人へ協力していく、また、約束(公約)が実現するかを見守ること」と率直な意見を述べていた。

練馬区選挙管理委員会は、こうした主権者教育が広がっていくことで、投票率の向上はもとより、有権者の資質向上に繋がるとして大きな期待をよせている。



授業の様子



記載の様子



投票の様子

【今後の小学校での選挙体験(予定)】

	学校名	実施予定日	時間
1	光が丘四季の香小(高松5-24-1)	2月2日(木)	13:40~15:15
2	泉新小(三原台3-18-30)	2月3日(金)	10:40~12:15
3	田柄第二小(田柄1-5-27)	2月7日(火)	13:15~14:50
4	大泉学園小(大泉学園町4-7-1)	2月24日(金)	13:35~15:10
5	向山小(向山2-14-11)	3月7日(火)	13:45~15:20

【参考】主権者教育とは

主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担う力を育むための教育。昨年6月に、文部科学省の「主権者教育の推進に関する検討チーム」により、学校、家庭、地域など社会全体で推進する方策が示されている。